

母校の子どもたちの健全育成と地域を担う人づくりをめざして

教職生活３８年目にして、母校である能古見小学校に赴任することになりました。私自身４８年前に卒業し、子どもたちもこの能古見小学校を卒業しています。そして、今年孫も入学し、改めて「母校」に対する思いを熱くしています。本校は、創立１３３年の歴史をもつ自然豊かな環境に恵まれた学校であり、また、保護者や地域の方々が本当に温かい学校です。そのような母校である能古見小学校への思いはただ一つです。「母校のために私が校長としてできることを全力でやる」ということです。

本校教育目標は、「『かしこく・正しく・たくましく』共に伸びゆく能古見っ子の育成」です。それは、「夢に向かって、本気で努力する子ども」の姿をめざしており、またその先にある「人の姿」を「能古見や鹿島が好きでこの地域や町をよくしていこうとする人」と考え、保護者や地域の皆様とともに様々な教育活動を通して、そのような地域（社会）を担う子どもたち（人）を育てていきたいと考えています。

本年度、能古見小学校では、子どもが主体的に学ぶ授業づくりや子どもたち同士が互いに関わりあいよりよい人間関係を築くための学級・学校づくりを進めています。「子どもたちがより楽しく、居心地がよいと思う学校」をめざして全職員一丸となってがんばっているところです。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和７年６月

鹿島市立能古見小学校 校長 松本博紀

